



事務員 藤崎 聡美

3回目となる「企業様の商品・サービス紹介」は
本家「白熊」の天文館むじゃき様です。

言われてみると“なるほどなあ”と思うのは1年中どの日に行っても「白熊」を食べられるということです。夏には1日3千杯が出るという「白熊」。昭和24年に発売開始。今では鹿児島を語る場合のキーワードにも。修学旅行生のメッカになっていることは言うまでもありません。70年近くも同じ商品が売れている秘密は、自社で配合するシロップのさっぱりした甘みだとか。

当初はかき氷の中にも豆、羊羹、果物が入っていたのが、昭和43年からすべて外に盛りつけると見た目もあって火が付いたとのこと。30年ほど前から宅配も始めて、全国ブランドを揺るぎのないものにしたようです。

鹿児島以外では「氷食べにいこう!」が、ここ鹿児島では「白熊食べに行こう!」になる訳で、一つの文化になっているから、凄いの一言ですね。

秋元康の小説『象の背中』では「食べに行きたいね・・・」と主人公が語る場面があることをご存じの方もいるかもしれません。

売れ筋は昔からのオリジナル商品でベビー白熊（510円税込）。今は寒い冬、この季節は黒豚料理や鍋で賑わうむじゃき店内で、締め込に「白熊」をほおぼるお客様がご満悦の表情です。県外のお知り合いにもベビー白熊セット（2,940円税込、梱包代・送料別）を贈るのもおしゃれですね。



店舗前の「しろくま」は
観光客に大人気!



ベビー白熊セットC 2,940円



レギュラーサイズは▶
ベビー白熊の約2
倍で720円(税込)

DATA

株式会社天文館むじゃき

鹿児島市千日町5-8

TEL 099-222-6904

WEB <http://mujyaki.co.jp/>